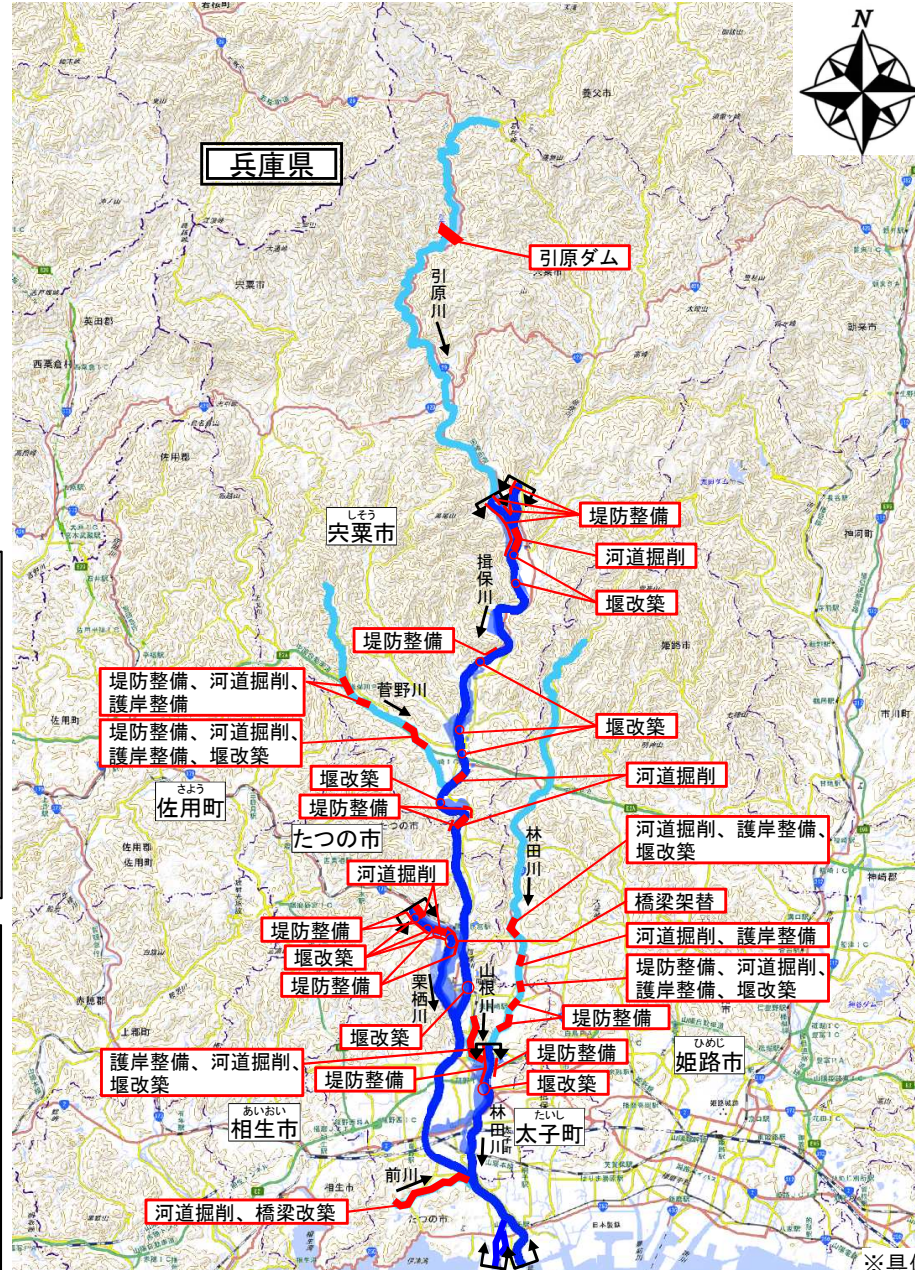


揖保川水系流域治水プロジェクト 中間とりまとめ（案）

～西播磨の暮らしを守る「揖保川」の治水対策推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、揖保川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の被害をもたらした昭和51年洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、家屋浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策
 河道掘削、堤防整備、護岸整備、堰改築、橋梁改築、引原ダムの再開発 等

■流域における対策

- ・下水道、排水施設(水路、排水機場等)の整備
- ・ため池、水田、校庭等の雨水貯留浸透機能の確保
- ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、兵庫県、関西電力(株)など)
- ・調整池の設置
- ・森林の整備及び保全

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- ・マイタイムライン又はマイ避難カードの作成促進
- ・洪水ハザードマップの高度化
- ・防災教育や避難訓練等の実施
- ・携帯アプリを活用したプッシュ型配信
- ・水位計・監視カメラの設置

※今後、関係機関と連携し対策検討

凡 例

	河道掘削
	堤防整備
	ダム
	浸水範囲(昭和51年洪水 国管理区間における氾濫解析結果)
	大臣管理区間



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。